

胆江ゆめネットワークが文部科学大臣賞

胆江地区の読書ボランティア23団体・10個人で組織する胆江ゆめネットワーク（新渡戸智子代表）が4月23日、子どもの読書活動優秀実践団体として表彰を受けました。

同ネットワークの新渡戸代表（67）、藤井江里副代表（52）、菊池千賀子事務局長（61）が、4月28日に田面木茂樹教育長を訪れ受賞を報告。新渡戸代表は「みんなの協力でここまで来れた。読み聞かせの大切さを伝えていきたい」と感謝と意気込みを語りました。



田面木教育長（左から2人目）に受賞を報告した（左から）菊池事務局長、新渡戸代表、藤井副代表

姉妹都市

静岡県 掛川市

掛川だより

神田祭へ16年ぶり3回目の里帰り

横須賀地区の川原町と西田町が特別参加

※三熊野神社大祭で曳き回される「祢里」と呼ばれる山車2台が、5月9日と10日の両日、東京都千代田区で行われた神田神社遷座400年記念の神田祭に参加しました。16年ぶり3回目のこととなります。

祢里は、江戸時代中期に将軍が上覧した神田祭の山車の流れをくむもので、この参加は、いわば里帰りといえます。

参加した掛川市横須賀地区の川原町と西田町の祢里は、9日に日本橋から付け祭の行列に加わり神田神社へ宮入り。10日には秋葉原の中央通りで神輿と共演した後、かつて神田明神のあった将門塚まで練り歩くなど、大観衆を前に、子々孫々と受け継がれた祭り文化と心意気を、存分に披露しました。

※掛川市西大淵にある三熊野神社で毎年4月に開催



日本橋三越本店前。雨よけのシートをかぶせて神田祭付け祭の行列に加わる2台の祢里



ILC国際化推進員
トマス・アンナの

Vol.2

あんなこと
こんなこと

ILCにまつわる話題や、アンナさんの目線で見えた本市の姿などをお届けするこのコーナー。今回のテーマは「国際化への不安」です。

こんにちは、アンナです。「外国人が増えたら、今の生活が変わってしまうのでは？」という不安はありませんか？ 実は私の故郷ウィラメットバレーも「国際化」の経験があります。今から50年ほど前、ロシアの古儀式派教徒が移住してきたんです。彼ら移住者と旧住民とは文化や習慣が大きく違います。「一緒に生活なんてできない！」と心配する人もいました。

その後、ウィラメットバレーはどうなったでしょうか？ 私の同級生にも古儀式派教徒の子がいました。その子はロシア語を話せるし、宗教上の休日に休むこともありましたが、私とは英語で話します。移住者はロシア語や宗教的伝統を受け継ぎながらも、地域に溶け込んでいました。結局のところ、旧住民の生活が一変するようなことはありませんでした。

地域と自分たちのルール、2つを守ることは移住者にとって大変なことだったでしょう。私はそんな人達と出会えて良かったと思います。



オレゴン州の古儀式派教徒にとって、髭を剃ることは罪に当たります

ILC計画についてのご質問は、電子メール、ファクスでお気軽にお寄せください。

■問い合わせ＝本庁政策企画課 ILC推進室（内線 412・415、FAX 2533、E ilc@city.oshu.iwate.jp）

6月は環境月間です

環境のこと地球のこと 考えてみませんか

環境省は6月を「環境月間」と定め、環境についての関心と理解を深め、積極的に環境の保全活動を行うよう呼び掛けています。皆さんも、家庭や職場で、できる範囲で「エコ」に取り組みましょう。

■問い合わせ＝本庁生活環境課環境係（内線 213）

■「ライトダウンする夜は、みんなが地球を想う夜。」 ～CO₂削減／ライトダウンキャンペーン～

環境省は、地球温暖化防止のため、6月22日から7月7日までの期間、施設のライトアップや家庭の電気を消すよう呼び掛ける「CO₂削減／ライトダウンキャンペーン」を実施します。身近な明かりを消して、地球や自分たちの暮らしのことについて考えてみませんか。皆さんも、できる範囲でご協力をお願いします。

特別実施日として、夏至の6月22日とクールアース・デーの7月7日の両日は、夜8時から10時までの2時間の一斉消灯を呼び掛けます。キャンペーンホームページではこの取り組みに参加する施設・団体の登録を受付中。詳しくは、ホームページをご覧ください。

ライトダウンキャンペーン

検索

■本を読んで、地球に優しい生活を始めよう

北海道・北東北3県は環境月間の取り組みとして、テレビ・ゲーム・パソコンなどを消して読書や読み聞かせを行うことを合同で呼び掛けています。テレビなどを消すことで電気使用量を減らし、地球温暖化の原因となっている二酸化炭素の排出量を抑えることができます。

この機会に環境に関する本を読んで、環境のことを学ぶきっかけとしてみませんか。

■「おうしゅうエコ事業所」に登録しませんか

市内の事業所が、環境負荷を低減させるための取り組みを自主的に定め、市に登録して実践する制度です。登録した事業所には「おうしゅうエコ事業所」の登録証を交付し、市公式ホームページや市の行事などで紹介しています。使用済み用紙や封筒の再利用など、簡単な取り組みから参加することができます。

取り組みの項目数に応じて1つ星（☆）から3つ星（☆☆☆）までの区分があり、登録は無料。あとは年に一度、簡単な様式で市へ結果報告するだけです。積極的に登録し、環境保全の輪を広げましょう。

こどもエコクラブに登録しませんか？

こどもエコクラブは、子どもが誰でも参加できる環境活動クラブです。地球環境に関する学習や活動を展開しています。皆さんも楽しみながらエコ活動をするクラブに加入もしくは設立してみませんか。詳しくはお問い合わせください。



環境審議会委員を募集します

市の環境行政や市環境基本計画の推進について、より多くの市民の意見を反映するため、市環境審議会委員を募集します。

■募集人数 2人

■任期

平成27年7月1日から29年6月30日まで（2年間）

■応募要件

次の①、②を全て満たす人 ①20歳以上で市内に居住（住所登録）している ②市の他の審議会、委員会などの委員に委嘱されていない

■募集期限 6月26日（日）

■応募方法

所定の様式に必要事項を記入の上、「奥州市の環境」に関する提案、意見などを述べた400字～800字程度の作文を添付して提出。応募様式などは、本庁生活環境課および各総合支所市民環境課で配布するほか、市ホームページに掲載します。

■提出先および問い合わせ先

本庁生活環境課環境係（内線 213）